



発行日：平成29年1月1日
発行者：市原市更級5丁目1-51
市原市立 中央図書館
よくよむ
TEL 0436 (23) 4946
<http://www.library.ichihara.chiba.jp>

中央図書館開館25周年企画 『私の思い出の本や図書館へのメッセージ』

11月27日で、中央図書館は開館から25周年を迎えました。皆様のご意見を伺いながら、これからも、生活に役立つ様々な情報を提供していきます。よろしくお願いします。

賀正



何さつか勉強にかんする本を借りて勉強したら、プリントもテストも100点でした。ごほうびにシール3まいがもらえました。本を借りてよかったと思いました。(J.S)

図書館の本はおもしろい本、役に立つ本などがたくさんあります。勉強のためにであったり、楽しませてくれる物がありますね。これからもがんばってください。

親がゆっくりと話してくれるお話ほど子どもの心に深くしみこむものはないと思います。『かっこうのうた』(大林豊/著、東京図書出版会)、ゆっくりと子どもに読み聞かせたい一冊です。(H生)

25周年おめでとうございます。職員の皆様のアドバイスを得て健康や生き方の本に巡り合えて役立っています。図書館通いは定年退職して20年経ちました。これからも楽しい読書が続けたいと思います。(男性)

ぼくは一年生になりました。字をならって一人でよめるようになった絵本『バムとケロ』シリーズ(島田ゆか/作・絵、文溪堂)。何回も借りて読んでいる大好きな本です。

戦後70年「平和」を享受してきました。今、再び戦後に戻るような気配がしてなりません。そんな中、香月泰男さんの画集『シベリヤ』に出会いました。戦争のおろかさを教えられた心に残る一冊です。

中央図書館はとてもべんりだと思っています。

メッセージありがとうございました。紙面の都合で、内容は一部省略させていただいています。

～文学講座・特別講演会～

「学び続けること

一本をとおして、土地をとおして」

講師：山本一力(やまもといちりき)氏

3月22日(水)

午後2時～3時30分



平成9年『蒼龍』で第77回オール讀物新人賞を受賞し、デビュー。平成14年には、『あかね空』で第126回直木賞を受賞。雑誌連載やテレビ番組でのコメンテーターも務める時代小説作家。

【場所】市原市勤労会館(youホール)3階多目的ホール【定員】300名(※要事前申込・先着順・1/17(火)～受付開始)【申込・問合先】市原市立中央図書館 23-4946

中央図書館のあゆみ



平成3年4月 中央図書館竣工
平成3年11月27日 開館
平成6年 入館者50万人突破
平成8年 入館者100万人突破
平成9年 開館時間延長開始(毎週水曜日午後7時まで)
平成10年 障害者サービス(対面朗読)開始。以降録音図書・DAISY図書再生機、音声読書機、拡大読書器の導入など随時開始。
平成13年 開館時間延長の拡大(毎週水曜日・金曜日は午後7時まで)、祝日開館の一部実施

平成15年 ウェブサイトにて、資料検索・予約等のサービスを開始。
平成16年 祝日開館の拡大(元旦を除くすべての祝日を開館)
平成22年 各施設への配本を週3回から週5回に増便
平成24年 読書ボランティア人材バンクの運用開始
平成26年 市内読書施設において、視聴覚資料の返却、予約した視聴覚資料の受取を開始
平成28年11月27日 開館25周年

『平成 28 年度第 10 回子ども読書感想画コンテスト』入賞者決定！



市長賞
 海上小学校 1 年
 高石ひなのさんの作品
 『しあわせなかつむり』



賞	氏 名	学校名	学年
教育長賞	野田 竜成	清水谷小学校	4 年
優秀賞	錦織 里桜	海上小学校	2 年
	藤田 真子	五所小学校	2 年
	堀口 真佳	国分寺台小学校	5 年
	赤松 桜空	光風台小学校	5 年
	御園 葉月	湿津中学校	1 年
優良賞	星野 有希奈	牛久小学校	1 年
	下村 留生	京葉小学校	3 年
	小松 夕梅	光風台小学校	4 年
	山本 一路	湿津小学校	4 年
	志村 拓真	千種小学校	5 年
学校奨励賞		五所小学校	

市原市内の小・中学校の児童・生徒の皆さんに、
 読んだ本の感想を絵で表現する「子ども読書感想画
 コンテスト」の作品を募集したところ、232 点の
 応募がありました。

作品はどれも力作ばかりで、本の世界を楽しむ様
 子が伝わってきました。

ご応募いただいた皆さんありがとうございました。



常設リサイクルコーナー



1 階正面入り口のエントランスホールに、常設のリサイ
 クルコーナーを設置しました。

ここでは、古くなり利用しなくなった図書館の本を小説
 を中心にお配りします。ぜひ、お立ち寄りください。



連携協力

帝京平成大学 千葉キャンパス図書館

を、紹介します。



帝京平成大学千葉キャンパスは、市原市北部に位置し、
 図書館は 3 階建ての独立した建物になっています。

地域に開かれた大学として地域住民、市原市に在勤の社
 会人の方を対象に図書館の一般開放を行い、教育文化の向
 上や生涯学習の手助けをしています。

蔵書数はおよそ 12 万冊。医療系の最新専門資料が充実
 しており、現在はスポーツ系の資料の収集にも力を入れて
 います。

帝京平成大学千葉キャンパス図書館を利用できる方は・・・

- ・市原市在住・在勤の 18 歳以上の方（高校生および予備校生を除く）
- ・図書館資料の利用を目的とする方
 （閲覧席の利用のみを目的とする場合は、利用できません。）

詳しくはホームページでご確認ください。

➡ <http://tosho.thu.ac.jp/chiba/index.html>

（帝京平成大学千葉キャンパス図書館ホームページアドレス）

帝京平成大学

千葉キャンパス図書館

☎290-0193

市原市うるいど南 4-1

☎0436-74-5207

（電話受付 9:00～16:00）

『さいごの歳旦譜』

～作家 葉山修平～

一時の流れはたゆみなく、そして、〈過ぎ去るもの〉としか、とらえられない。―

葉山修平「歳暮歳旦」(2016年1月：通巻260号『花粉期』)より

作家で日本文学の研究者でもあった葉山修平(本名：安藤幸輔)さんは、1930年3月16日、市原に生まれました。千葉師範学校(千葉大学の前身)を卒業、東京大学大学院修士課程を修了し、開成中学校・開成高等学校で教鞭をとられた後に、駒沢短期大学教授となっています。

処女作は、短編小説「市さん」でした。戦争末期に召集され戦死した「市さん」のことを、集落の方言を使って書き綴った作品で、千葉師範学校文芸部の『猪丘文学』第2号(1948)に掲載されました。その後、晩年の室生犀星氏に師事し、「バスケットの仔猫」(1957年4月号『文芸日本』)から本格的な作家活動を始めました。

また、「日本いそっぷ噺」(『花』4集 1960年5月号)では第43回直木賞候補となり、『現在完了』(1963)では、第16回文学界新人賞佳作に選ばれました。更に、『小説の方法』(1994)では、第1回室生犀星顕彰大野茂男賞研究(評論部門)に輝いています。

葉山修平さんの作品には、『終わらざる時の証しに』(1965)『わが一九四五年』(1997)『藁の中の七面鳥』(1991)など、「市原」を舞台とする小説や随筆が比較的多く、诗情豊かで、どこか懐かしく、読み手のところに、パッと明かりを灯してくれるようなところがあります。ふるさとを愛しむところが、作家の胸中に溢れているからだと思います。

市原市立中央図書館開館1周年事業では、葉山修平さんに記念講演をお願いしました。演題は「日本人の笑いについて」。2年後には『日本文学にみる〈笑い〉〈女性〉〈風土〉』(1995)が発刊されていますので、私たちでも、講演の内容を窺い知ることができます。

2016年8月28日、葉山修平さんは行年86歳で亡くなりました。

「歳旦譜」とは、俳諧の「歳旦帳」に因んだ言葉で、「年賀状代わり」のことです。文頭に引用した『花粉期』では、表題として掲げられています。しかし、ここに載せた「歳暮歳旦」が、葉山修平さん「さいごの」歳旦譜となってしまったのでした。

(記 たま)

市原市出身の作家・詩人

ふるさと市原に輝く人物コーナー

『葉山修平追悼展』 開催！

平成29年最初の、“ふるさと市原に輝く人物コーナー”は、第8弾として、昨年8月に亡くなった、“作家・詩人”葉山修平さんを取り上げます。

昭和24年以降、中学校・高校の教諭、大学の教授を務められました。一方、小説の発表や同人雑誌の発行、小説教室の講師など、独自の活動を幅広く続けられました。「日本いそっぷ噺」(『花』4集 1960年5月号)は、第43回直木賞(1960年上期)候補となりました。

『芭蕉ものがたり』『わが酒の記』などの図書や、エッセイなどが掲載されている雑誌や同人誌などを展示します。

■開催場所

- 1階 郷土・行政資料展示コーナー「ふるさと市原に輝く人物コーナー」
- 2階 展示ケース

■展示期間

平成29年1月4日(水) - 2月22日(水)

開館時間中、閲覧自由 *2階は全日午後5時まで

“読書の秋”に、
開催しました！



2016 年の“秋の読書週間”のテーマは、
「いざ、読書。」

『大人のためのおはなし会』、『歴史講座』、『資料展示「いざ、国分寺」及び「ギャラリートーク』、『長く読み継がれてきた本の紹介「あなたは、何歳？」』など、多くの方に、いろいろな分野の本にふれる時間を過ごしていただきました。



『大人のためのおはなし会』



『あなたは、何歳？』



『歴史講座』



『ギャラリートーク』

おかげさまで10回目
“子ども読書活動推進
フォーラム”

“原ゆたか”さんの、
講演会を開催しました！

「きみのいちばんすきなゾロリを
おしえて！！」投票結果

- 第1位 『かいけつゾロリのなぞのおたから
大さくせん 前編・後編』
第2位 『かいけつゾロリのクイズ王』
第3位 『かいけつゾロリ
イシシ・ノシシ大ピンチ!!』



©原ゆたか／ポプラ社

平成28年12月7日、市原市勤労会館で、子どもたちに大人気のかいけつゾロリシリーズの作者、原ゆたかさんをお招きして、講演会を行いました。子どもの目線、好奇心を大切にされている原さんのユーモアのある楽しいお話に、参加者はじっくり耳を傾けていました。

また、中央図書館では1階エントランスホールにて「原ゆたかさん原画展」、「みんなのゾロリ大集合！」（児童の塗り絵や似顔絵展）、「きみのいちばんすきなゾロリをおしえて！！」（ゾロリシリーズ近刊20冊の人気投票）を行い、多くの方に参加いただきました。

蔵書点検のため、
休館（室）します。



御理解、御協力のほど
よろしくお願いいたします。



中央図書館

■休館期間 2月23日(木)~3月1日(水)



有秋・八幡・加茂公民館図書館

菊間・ちはら台・三和コミュニティセンター図書室

■休室期間 2月27日(月)~3月3日(金)

市原市立図書館では年に一回、所蔵している資料の点検作業、“蔵書点検”を実施し、皆さまが必要とする資料を適切に提供できるよう、図書や雑誌等を、一冊一冊確認し整理をしています。

そのため、蔵書点検を実施する施設ではその間、お休みとさせていただきます。ご不便をおかけしますが、市内の他の読書施設をご利用ください。なお、蔵書点検実施施設でも、返却ポストの利用は可能となっています。

「中央図書館利用案内」



★開館時間 午前9時30分~午後5時
※水・金曜日は一般開架室のみ午後7時まで
ただし、祝日は除く
※児童室・視聴覚コーナーは全日午後5時まで
★貸出冊数・貸出期間
図書・雑誌 10冊まで
視聴覚資料 2点までいずれも2週間

★休館日 毎週月曜日
毎月平日最終日（月末図書整理日）
特別整理期間（蔵書点検等）
年末年始（12月29日~1月3日）
★初めてカードを作るには
住所氏名の確認できるもの（運転免許証等）をお持ちください。